

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-333331

(43)Date of publication of application : 30.11.2000

(51)Int.Cl.

H02G 1/06

(21)Application number : 11-143207

(71)Applicant : BUREST KOGYO KENKYUSHO CO LTD

(22)Date of filing : 24.05.1999

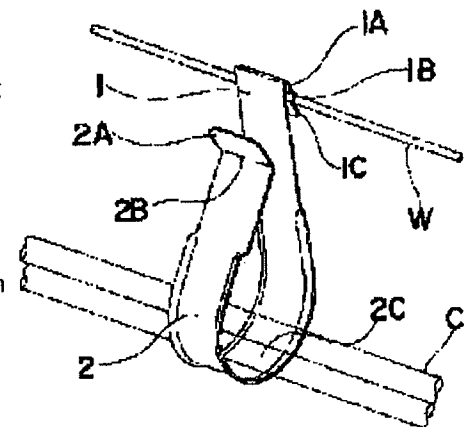
(72)Inventor : KOJIMA TAKESHI

## (54) SUPPORT FOR CABLE-LEAD WIRE

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate attaching and detaching a support to and from a messenger wire, placing and changing cables in the support and support cables without fail, even if the messenger wire swings or slackens.

SOLUTION: A support for cable-lead wire is provided with an anchoring body 1, which is fit onto the side of a messenger wire W and crimped onto the messenger wire W, and a hook body 2 which is extended downward from the anchoring body 1 and supports cables C. The anchoring body 1 comprises a clamping portion 1A, fitting portion 1B, and a wire inserting portion 1C. The hook body 2 is constituted of a cable inserting portion 2A, a narrowed portion 2B, and a support portion 2C.



일본공. 특허공보 병 12-333331호(2000 1.30.) 1부.

(19) 日本国特許庁 (J P) (12) 公開特許公報 (A) (11) 特許出願公開番号  
特開2000-333331  
(P2000-333331A)  
(43) 公開日 平成12年11月30日(2000.11.30)

(51) Int.Cl.<sup>1</sup> 識別記号 F I テーマコード(参考)  
H 0 2 G 1/06 3 0 1 H 0 2 G 1/06 3 0 1 C

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-143207  
(22) 出願日 平成11年5月24日(1999.5.24)

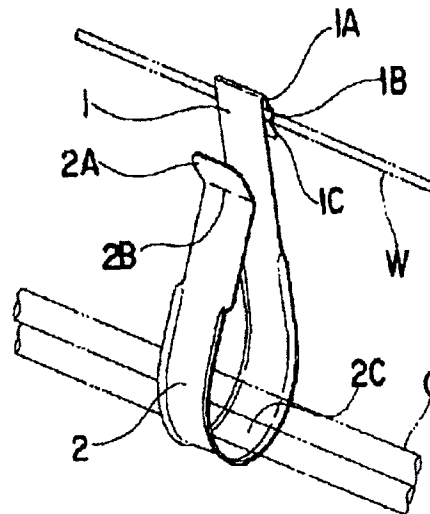
(71) 出願人 000136686  
株式会社プレスト工業研究所  
東京都江戸川区中央1丁目3番3号  
(72) 発明者 小島 武  
東京都江戸川区中央1丁目3番3号 株式  
会社プレスト工業研究所内  
(74) 代理人 100066223  
弁理士 中村 政美

(54) 【発明の名称】 ケーブル先行配線用支持具

(57) 【要約】

【解決手段】 メッセンジャーワイヤーWの側面に嵌合して圧着する係止体1と、この係止体1から下方に延長されてケーブルCを支持するフック体2とを設ける。係止体1は、挟着部1A、嵌合部1B、ワイヤー導入部1Cで構成する。フック体2は、ケーブル導入部2A、狭窄部2B、支持部2Cで構成する。

【効果】 メッセンジャーワイヤーへの支持具の着脱が容易である。支持具へのケーブルの装着や差し替えが容易に行うことができる。メッセンジャーワイヤーに揺れや挠みがあってもケーブルを確実に支持することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ケーブル先行配線工事に用いるメッセンジャーワイヤーに装着する支持具であって、メッセンジャーワイヤーの側面に嵌合して圧着する係止体と、この係止体から下方に延長されてケーブルを支持するフック部とを設けたことを特徴とするケーブル先行配線用支持具。

【請求項2】 前記係止体は、フック体の上端部を屈曲してメッセンジャーワイヤーを挟着する挟着部と、この挟着部の弾性力でメッセンジャーワイヤーの側面に押圧され、メッセンジャーワイヤーの側面に嵌合する嵌合部と、嵌合部の開放端部がわに延長されてメッセンジャーワイヤーを側面から導入するようにメッセンジャーワイヤーの直径よりも広く開かれたワイヤー導入部とから構成された請求項1記載のケーブル先行配線用支持具。

【請求項3】 前記フック体は、フック体の開放端部をケーブルの厚みより広く拡開してケーブル導入部を設け、このケーブル導入部から延長されケーブルの厚みより狭く形成しフック体自体の弾性力で開閉する狭窄部を設けた請求項1又は2記載のケーブル先行配線用支持具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、電気配線工事に於いて最近行われているケーブル先行配線工事に使用するため、梁の間に架設したメッセンジャーワイヤーに、必要なケーブルを予め支持しておく際に用いるケーブル先行配線用支持具に関する。

【0002】

【従来の技術】 最近行われているケーブル先行配線工事では、梁材と梁材との間にメッセンジャーワイヤーを架設し、このメッセンジャーワイヤーを利用して必要なケーブルを先行して配線する工事が行われている。

【0003】 このときケーブルをメッセンジャーワイヤーに係止するために、従来では図4に示すようなナイロンバンド等の結束具Nを用いてケーブルCをメッセンジャーワイヤーWに結束する手段が採られていた。

【0004】 また、ナイロンバンド等の結束具の代わりにメッセンジャーワイヤー用のケーブル支持具を用いることもある。このケーブル支持具は、メッセンジャーワイヤーに係止するフック部とケーブルを支持する支持部とを設けたものが使用されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、ナイロンバンド等の結束具Nを使用した場合は、複数のケーブルCをまとめて結束するため、一部のケーブルCのルートが変更になった場合には、すべての結束具Nを切断して変更するケーブルCを抜き取り、残ったケーブルCを再び結束する作業が必要になるので極めて面倒な手間を要するものになる。また、結束したケーブルCに他のケー

ブルCを追加する場合には、結束した複数のケーブルCに、追加するケーブルCをまとめて新たなナイロンバンド等の結束具Nで結束する作業になるから、追加する場合にも手間を要するものである。

【0006】 一方、メッセンジャーワイヤー用のケーブル支持具を使用した場合は、このケーブル支持具のフック部がメッセンジャーワイヤーに沿って滑動する構造なのでメッセンジャーワイヤーの揺れや挠みによって移動し、メッセンジャーワイヤーが弛むと、この弛んだ最下部にケーブル支持具が次第に差まってしまう不都合が生じていた。

【0007】 しかも、この種のケーブル先行配線工事は、高所作業になることから、ケーブルの着脱や支持具の着脱が簡単でしかも確実なものが望まれていた。

【0008】 そこで本発明は、上述の課題を解消すべく創出されたもので、メッセンジャーワイヤーへの支持具の着脱が容易で、且つ支持具へのケーブルの装着や差し替えが容易に行うことができ、しかも、メッセンジャーワイヤーに揺れや挠みがあってもケーブルを確実に支持することができるケーブル先行配線用支持具の提供を目的とするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】 上述の目的を達成すべく本発明の第1の手段は、ケーブル先行配線工事に用いるメッセンジャーワイヤーWに装着する支持具であって、メッセンジャーワイヤーWの側面に嵌合して圧着する係止体1と、この係止体1から下方に延長されてケーブルCを支持するフック体2とを設けたことにある。

【0010】 第2の手段の係止体1は、フック体2の上端部を屈曲してメッセンジャーワイヤーWを挟着する挟着部1Aと、この挟着部1Aの弾性力でメッセンジャーワイヤーWの側面に押圧され、メッセンジャーワイヤーWの側面に嵌合する嵌合部1Bと、嵌合部1Bの開放端部がわに延長されてメッセンジャーワイヤーWを側面から導入するようにメッセンジャーワイヤーWの直径よりも広く開かれたワイヤー導入部1Cとで構成する。

【0011】 第3の手段のフック体2は、フック体2の開放端部をケーブルCの厚みより広く拡開してケーブル導入部2Aを設け、このケーブル導入部2Aから延長されケーブルCの厚みより狭く形成しフック体2自体の弾性力で開閉する狭窄部2Bを設けたことを課題解消のための手段とする。

【0012】 本発明によると、係止体1の挟着部1A、嵌合部1B、ワイヤー導入部1Cによって、メッセンジャーワイヤーWへ本発明支持具を着脱する。また、フック体2のケーブル導入部2A、狭窄部2Bによって、ケーブルCの装着や差し替えを行うものである。

【0013】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照して本発明の実施例を詳細に説明する。本発明支持具は、ケーブル先行

配線工事に用いるメッセンジャーワイヤーWに装着してケーブルCを支持するもので、係止体1とフック体2とで構成する(図1参照)。これら係止体1及びフック体2は、弾性を有する金属材料又はプラスチック材で一体に形成する。

【0014】係止体1は、メッセンジャーワイヤーWの側面に嵌合して圧着するもので、挟着部1A、嵌合部1B、ワイヤー導入部1Cからなる。

【0015】挟着部1Aは、フック体2の上端部を延長して屈曲した部分で、メッセンジャーワイヤーWの左右側面を挟着する(図2参照)。そして、この挟着部1Aは、メッセンジャーワイヤーWの側面に嵌合する嵌合部1Bを設けている。

【0016】嵌合部1Bは、挟着部1Aの弾性力で押圧されてメッセンジャーワイヤーWの側面に嵌合係止する。このとき、図2に示す如く、嵌合部1Bの上部を湾曲してメッセンジャーワイヤーWの上端部にスペースを設けるように弾性部1Dを設けている。この弾性部1Dは挟着部1Aの弾性力を保持するもので、嵌合部1Bの開閉操作を容易にして、高所での係止体1の着脱作業をより簡便にするものである。また、図3に示すように、メッセンジャーワイヤーWの上面から側面を嵌合部1Bで嵌合するようにしてもよい。

【0017】ワイヤー導入部1Cは、嵌合部1Bの開放端部がわに延長した部分で、メッセンジャーワイヤーWを側面から導入し易くするように、メッセンジャーワイヤーWの直径よりも開放端部が広く開かれている。

【0018】フック体2は、係止体1から下方に延長され、ケーブルCを支持する構成である。このフック体2の開放端部には、ケーブルCの厚みより広く拡開したケーブル導入部2Aを設けてある。更に、このケーブル導入部2Aから延長された位置に、狭窄部2Bを設けている。この狭窄部2Bは、ケーブルCの厚みより狭くなるように形成してあり、フック体2自体の弾性力で開閉する。ケーブル導入部2Aから導入されたケーブルCは、この狭窄部2Bを強制的に拡開して支持部2Cに支持される。強制的に拡開された狭窄部2Bは、フック体2の弾性力で再び元の開閉に戻って、支持部2CのケーブルCの脱着を防止する。支持部2CのケーブルCを掛け変える場合は、ケーブルCを持ち上げるだけで狭窄部2Bから取り外すことができる。図示のフック体2は、金属帯材を屈曲して形成した実施例を示しているが、金属のフック体2がケーブルCの被覆材を傷付けないようにするため、このフック体2を合成樹脂材で被覆することも

ある(図示せず)。また、フック体2や係止体1を強化プラスチック材で形成することも可能である。

【0019】

【発明の効果】本発明は、上述の如く構成したことにより、当初の目的を達成する。

【0020】すなわち、請求項1の係止体1により、メッセンジャーワイヤーWへの支持具の着脱が容易に行なえる。また、フック体2により、支持具へのケーブルCの装着や差し替えを容易に行うことができる。

【0021】請求項2に記載の挟着部1A、嵌合部1B、ワイヤー導入部1Cにより、メッセンジャーワイヤーWに揺れや揺みがあっても、メッセンジャーワイヤーWに係止体1を確実に固定することができる。また、高所での係止体1の着脱も容易である。

【0022】請求項3に記載のケーブル導入部2A、狭窄部2Bによって、フック体2に支持したケーブルを確実に保持することが可能になった。しかも、メッセンジャーワイヤーWの揺れに共なって、フック体2が大きく揺れた場合でも、ケーブルCがフック体2から外れるおそれはない。

【0023】このように本発明によると、メッセンジャーワイヤーへの支持具の着脱が容易で、且つ支持具へのケーブルの装着や差し替えが容易に行うことができ、しかも、メッセンジャーワイヤーに揺れや揺みがあってもケーブルを確実に支持することができるなど、ケーブル先行配線工事に好適な種々の効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す斜視図。

【図2】本発明の係止体の一実施例を示す拡大側面図。

【図3】本発明の係止体の他の実施例を示す拡大側面図。

【図4】従来の結束具を使用した状態を示す正面図。

【符号の説明】

C ケーブル  
N 結束具  
W メッセンジャーワイヤー  
1 係止体  
1A 挟着部  
1B 嵌合部  
1C ワイヤー導入部  
1D 弾性部  
2 フック体  
2A ケーブル導入部  
2B 狭窄部  
2C 支持部

